



子供たちの未来と故郷発展のために！

熊取町議会議員 完全無所属

vol.5

たわもと英一 News

伝統を繋ぎ・安心・安全で、全てに優しく、美しいまちづくりを！

昨年は、春から秋にかけて早期大腸がんの治療をしながらの活動となりましたが、幸いにも早期発見が出来たので、内視鏡での切除治療で一応完治出来ました。発見のきっかけは、町が行っている集団検診を受けた事で、あらためて定期的な検査の必要性を実感しました。2026年も健康管理に注意して、住民福祉向上のために全力で活動していきますので、よろしくお願いします。

R7 9月定例会：会派質問

キターネホール（文化ホール）運営事業について

※紙面スペースの都合上、内容を抜粋しての記載となります。

質問

①自主運営でのメリット・デメリットは？

②施設稼働率は？

③文化公演事業来場者の年齢層は？

答弁

①コストメリットや、ホール開館当初のタイミングにおいて、町の直営による施設運営を進めた経緯があり、現状においてもそのメリットがあるものと認識しております。一方、デメリットにつきましては、専門的な知識や経験を持つ人材の確保が確実でないといった点があるかと認識しております。②令和6年度の実績としまして、稼働日数をベースにした稼働率は、全体でおよそ7割となっており、土・日・祝日に限定した場合の稼働率は、およそ8割となっております。③60代以上の方が概ね4割以上、場合によっては7割を超えるご来場で40代50代のご来場は、2割から3割程度となっており、10代以下につきましては、人形劇やお笑いといったお子様も楽しめる公演の場合、2割程度のご来場をいただいているところでございます。20歳代については、いずれの公演でも1割に満たないご来場となっております。

私の考え

文化ホールがリニューアルして、熊取の文化創造の拠点となるキターネホールオープンから1年半が過ぎ、町内、町外多くの方にご利用いただいているキターネホールですが、町が直営として運営をしている以上は、役場内の窓口の中でもより民間的なサービスが必要になると思います。ご利用いただいている年齢層を見ても比較的年配の方が多く、20代、30代の若い世代が、行きたい、観てみたいと思っていただけるような文化公演事業なども、考えていく必要があると思いますし、現在窓口でのチケット購入は現金のみとなっていて、キャッシュレスでの対応や、チケットぴあだけでなく、インターネット販売についても調査研究を進めていく必要があると思います。貸し館についても、設備の充実など利用者の声を聞き対応していただきたいと思います。私自身、可能な限りチケットを購入し、キターネホールを利用していただけるお客様と一緒に、安定的な運営について考えたいと思います。

たわもと英一資格

介護福祉士・介護支援専門員(ケアマネジャー)・認知症ケア専門士合格(未更新)
福祉住環境コーディネーター2級・防災士・簿記3級

たわもと英一 News Vol.5

2026年1月発行 5,000部

発行責任者：多和本英一

tawamoto.com



たわもと英一
オフィシャルサイト

日々の活動を更新中！



たわもと英一
オフィシャルブログ



R7 9月定例会：一般質問

夏休みのこどもの居場所づくり事業について

※紙面スペースの都合上、内容を抜粋しての記載となります。

質問

①申込児童人数、実施場所ごとの受け入れ人数について？

※NPO 熊取こどもとおとなのネットワークによる長期休業期間限定利用学童保育が、年度当初の新クラブ開設などの影響により、実施に必要な受入態勢が整わなかったため、町が主体となり実施。

②保護者からの要望等について ③来年度の事業実施に向けた考えについて



答弁

①町内在住の小学校1年生から6年生までを対象に募集を行い、当初想定していた60人を上回る92人のお申込みがありましたので、できるだけ多くのお子様に利用いただけるよう、見守りスタッフを増員し、3年生までの低学年児童全員を抽選なしで受け入れることといたしました。その結果、実施場所ごとの受け入れ人数は、熊取ふれあいセンターで41人、中央小学校で27人の計68人でございました。②本事業では、普段、学童保育を利用されていない方を対象としたため、小学校の下校時刻と徒歩で帰宅するまでに要する時間を目安として、利用時間を午後4時30分までに設定しておりましたが、利用時間の延長を希望される声があり、ほぼ全ての方が事業の継続実施を望んでおられました。③当初NPOが実施する予定であった長期休業期間限定利用学童保育が中止となったため、臨時的に実施したものでございますので、まずはNPOによる事業再開に向けた協議を優先し、それが困難な場合は、町として何らかの方法で「居場所」を提供できるよう努めてまいりたいと考えてございます

私の考え

NPO 熊取こどもとおとなのネットワークによる長期休業期間限定利用学童保育が、年度当初の新クラブ開設などの影響により実施に必要な受け入れ体制が整わなかったため、町が主体となり急遽実施していただいた「夏休みこどもの居場所づくり事業」を実施していただいた事には大変感謝しています。子育てと仕事の両立支援として、夏休み（長期休み）保護者が仕事などで日中家にいない小学生を対象に、安全な遊びや生活の場を提供し、心身の健全な育成を支援する事業に対するニーズは高く、物価高騰が続く中、共働き世帯を支え、安心して働ける環境を整える対応が今後も必要だと思います。学童保育所についての問題や課題について何度も議会で質問や提案をさせていただく中でも、支援員の人手不足について実施主体である町とNPOの連携を深め、「子育てのまち」として解決に向けて考える必要があると思います。この事業には青少年指導員として、ボランティアで見守り補助に入らせていただきました。

夏休みのこどもの
居場所づくりブログ



冒頭のご挨拶でも定期的な検診の大切さについて書いていますが熊取町では、健康保険の種類を問わず、住民の方であれば、各種がん検診をお得に受診していただけます。○乳がん検診 ○子宮頸がん検診 ○胃がん検診 ○結核・肺がん検診 ○大腸がん検診 ○前立腺がん検診



住民さんより改善要望をいただき、熊取町に依頼し改善されました。



編集後記



年2回発行の「たわもと英一 News」を見て、ホームページのお問合せから、熊取町に対するご意見・ご要望をいただく事も増えてきました。ブログの記事も500投稿を超えて見ていただいている方も増えています。今後も日々の活動や、情報発信を積極的にしていきますので、SNSについてもフォローよろしくお願いします。この「たわもと英一 News」をできる限り多くの方にお届けしたいと思っていますが、一部を除いて自身で歩いてのポスティングとなるため町内全域にはなかなか配れていませんが、ホームページにバックナンバーも掲載していますので、過去のNewsも見ていただけると嬉しいです。

「区・自治会に加入しましょう！」

災害が起きた時や、子どもたちの見守りなど重要な役割を果たしている区・自治会に加入していただき、地域に参加して下さい。

たわもと英一 News Vol.5

2026年1月発行 5,000部

発行責任者：多和本英一

tawamoto.com

たわもと英一
オフィシャルサイト

日々の活動を更新中！

たわもと英一
オフィシャルブログ